

子どものための学校週五日制

「子どもたちにもっとゆとりを」を目的に学校週五日制がスタートして何年かが過ぎようとしています。その間さまざまな論議がまきおこりました。「学力の低下が心配だ」「土曜日を子どもだけで過ごさせるのが不安だ」「まだ、週休二日制が普及していないので早すぎる」「子どもが過ごせる受皿が少なすぎる」「塾通いが多くなる」などです。心配な点や不安な点が完全に解決したわけではありませんが、来年度より月一回の土曜日が休みになる隔週学校週五日制が全国の学校でスタートします。

そこでもう一度、学校週五日制の本来の目的を考えてみましょう。

第一の目的は勉強が最優先で、家でも学校でも「早くしなさい」「頑張りなさい」「小さい時から勉強しておかないと、良い大学に進学できないのよ」と言われ、大変忙しく過ごしている子どもたちに「ゆとり」をとりもどすことです。受験地獄にどっぷりつかなくてはならない子どもたちは、もつと自由に伸び伸びと過ごしてみたくなります。そんな子どもたちの叫び声が今にも聞こえてきそうです。

第二の目的は「家庭・地域・学校で協力して二十一世紀になつていく子どもたちに本当の意味の



学力や社会性、進んで行動する力などを身につけさせることです。今までのようには学校がなんでも引き受けてしまうのではなく、学校では本当の意味の学力を身につけさせ家庭でできるしつけは親が責任持って行い、地域でも地域行事などを中心に社会性などを身につけさせることが大切だと思います。三者が協力して、子どもたちのより良い人格を形成していくようになります。

ところで、学校週五日制の主役

はあります。主役である子どもを忘れた論議では、学校週五日制の本当の目的を達成することができません。完全な学校週五日制になるまで、もう少し時間がかかるかもしれません。完璧な現場や関係機関とともに努力を積み重ね、子どもたちに「ゆとり」をとりもどすように努力していくかなくてはならないと思っています。

日本は経済大国になり、確かに物は豊かになってきたと思いま

す。

しかし、本当の豊かさとは、物心両面の豊かさです。心の豊かさを身につけるには、まず心に栄養を与えることです。心に栄養を与えるには「ゆとり」をもつて読書をしたり、旅行をしたり、芸術を観賞したりしなければなりません。そういう意味からすると、この学校週五日制は、子どもたちが五人程度の小学生が入室しています。原則として、四月からの毎週月曜日として、午後一時から五時まで勤ける方、特に子どもの好きな方なら大歓迎です。

その他の詳細は、さわやか教室までお問い合わせください。

ガールスカウト入団者募集



さわやか教室指導員募集

スクール参加者募集

ガールスカウトは「自己開発」「人のまじわり」「自然とともに」という3つの柱を基礎に、少女が本来もっている創造性を引き出し、自立心を育て、社会に貢献できる女性を育成することを目的としています。

学校の勉強とは違うさまざまな体験が出来ます。あなたもガールスカウトの一員になって新しい自分を発見してみませんか。

募集対象	新入学児童 8名 その他の学年 若干名
連絡先	ガールスカウト山梨第10団 事務局 上谷 2-4-8 長沼 (43)3115
切削	3月末日 市教育委員会 都留ロータリークラブ
申込先	東京電力大月営業所 ふれあい係 ☎(22)2233 内線228